# 烏　丸　だ　よ　り

第７号　　令和８年１０月 29 日

「未来を切り拓き、心豊かにしなやかに生きていく力の育成　自立と尊重」　　京都市立　烏丸中学校


## 「尊重とは何だろう」



学校生活の中で、折にふれて、「尊重」という言葉を使います。しかし、そのたびに気になることがあります。

生徒の皆さんにとっては、もしかすると、「相手を尊重しなさい」と言われることは、「自分が我慢しなさい」と言われているように聞こえることがあるのではないか、と。

学校生活では自分の思い通りにならないことがあります。学級で何かを決めるとき、部活動で方針を考えるとき、友人と意見が分かれるときもあります。そんなとき、尊重とは自分の意見を引っ込めることではありません。

尊重とは、自分の考えを捨てることではなく、自分の考えも相手の考えも大切にすることです。

例えば、学級で行事の内容を決める場面を考えてみましょう。自分はＡ案がよいと思う。友達はＢ案がよいと思う。そんなとき、「それは違う」と相手の意見を否定するのは簡単です。一方で、自分の意見を言わずに我慢することも、尊重とは少し違います。しかし、「なぜそう考えたのだろう」と耳を傾けることができれば、新しい考えが生まれるかもしれません。

これは授業でも同じです。国語の文章の読み取りや社会の課題について考える場面では、一つの問いに対して複数の意見が出ることがあります。友達の発言を聞いて、「そんな見方があったのか」と気づかされることも少なくありません。違う意見は、自分の考えを広げたり深めたりするきっかけになります。

社会に出れば、自分と同じ考えの人ばかりではありません。むしろ違う考えをもつ人と関わりながら生きていくことの方が多いでしょう。だからこそ大切なのは、誰かが我慢することではなく、互いの考えを出し合いながら、どこに合意点を見いだすかを考えることです。全員が 100%満足する答えはないかもしれません。しかし、お互いの思いを理解しようと努めながら、「ここならみんなで進んでいける」という地点を探すことはできます。

尊重とは、意見の違いをなくすことではありません。違いがあることを前提に関わるということ。

違いを認めながら、ともに納得できる答えを探そうとすることです。

もしも、そうやっても分かり合えなかったら、「そう考える人もいるんだな」と受け止めることはできます。

学校はその練習をする場所でもあります。一人一人が自分の考えをもち、それを伝える。そして、相手の考えにも耳を傾ける。その積み重ねが、これから社会の中で生きていくための大切な力になるのだと思います。

互いの違いを認め、対話を重ねながら合意点を探る。一人一人がそうした姿勢を少しずつ意識できれば、互いに安心して考えや思いを伝えられる学校になっていくと思います。

尊重とは、「自分の考えを大切にすること」と「相手の考えも大切にすること」を両立しようとすることです。

「自分と違う人を認めることから、本当の学びは始まる。」

話者不詳

## 「異羽同心」文化祭を終えて　９月 30 日～10 月１日



９月 30 日、10 月１日の２日間にわたり、文化祭を開催しました。今年のテーマは「異羽同心」。一人一人の違いを認め合いながら、仲間と心を一つにして取り組む姿が、さまざまな場面で見られました。

初日の合唱コンクールでは、どの学級も、その成果を十分に発揮しました。順位はつきましたが、それぞれの学級が仲間とともに創り上げた歌声には違ったよさがあり、「順位をつける必要はないのではないか」とさえ感じました。

そして、何より心に残ったのは全校合唱「ほらね、」です。学年や学級の枠を越え、全校生徒が心を一つにして歌う姿は、この文化祭のテーマである「異羽同心」を象徴するものでした。もちろん美しい歌声も素晴らしかったのですが、それ以上に印象的だったのは、生徒たち一人一人の表情です。仲間とともに歌う喜びや達成感が自然と表れた表情はとても輝いており、温かな一体感が会場全体を包み込んでいました。



また、展示発表では日頃の学習や活動の成果が工夫を凝らして発信されていました。皆さんの作品に、「こんな描き方があるのか」「こんな魅力があるのか」といった、新たな発見がありました。



２日目の舞台発表では、各学年が個性あふれる取組を披露しました。3 年生は発表だけでなく、準備や運営においても学校全体をリードし、最高学年としての責任感と頼もしさを示してくれました。2 年生の劇からは、大切にすべきことは何かというメッセージと、それらを創り上げる皆さんから来年度への大きな可能性が感じられました。そして１年生の発信は、限られた準備期間や当日のアクシデントにも柔軟に対応し、最後までやり遂げることができました。これからの「自分たちにしかできない発信」が楽しみです。




文化祭は、まとまった発信活動という点で見れば大きな成功だったと言えます。しかし、本当に大切にしたいのは「成功」そのものではありません。仲間と意見を交わし、ときには悩み、試行錯誤しながら一つのものを創り上げていく過程にこそ、大きな学びと成長があります。



今年の文化祭は、まさに「成功より成長」を体現した二日間でした。この経験をこれからの学校生活につなげ、一人一人がさらに成長していくことを期待しています。

♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬♬

合唱コンクールに向けた練習期間中、本校では貴重な学びの機会をいただきました。学級の練習には同志社大学グリークラブの団員の皆様が足を運んでくださり、発声や表現の工夫などについて丁寧に指導してくださいました。また、全校合唱「ほらね、」の作詞者である伊東恵司先生にもご来校いただき、全校生徒へ直接ご指導いただく機会に恵まれました。



特に印象的だったのは、伊東先生の指導を受けたときの生徒たちの変化です。先生から発声や言葉の伝え方について助言をいただくと、それまでとはまるで別の合唱のように歌声が変わりました。声量が増したというだけではありません。一つ一つの言葉に思いが乗り、聴く人に届けようとする気持ちが歌声から伝わってくるようになりました。専門家の力の大きさを感じるとともに、素直に学び、すぐに実践しようとする生徒たちの姿勢にも大きな可能性を感じました。

暑い体育館の中、汗をかきながら熱心に指導してくださった伊東先生は、お帰りの際に「生徒の皆さんが懸命に歌う姿に、私の方が元気をもらいました」と話してくださいました。

# 令和8(2026)年度　11 月　行 事 予 定 表

| 日 | 曜 | 授業 | | | | | | 行事 | 生徒会 | 給食 1年 | 2年 | 3年 | 育1 | 育2 | 育3 | ク |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 日 | | | | | | | 室町ふれあい広場 | | | | | | | | ○ |
| 2 | 月 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 学 | ⑥認証式　生徒議会・専門委員会 オープンスクール | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 3 | 火 | | | | | | | 文化の日 | | | | | | | | ○ |
| 4 | 水 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 検尿（一次）<br>⑤⑥選書会 | 執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 木 | ① | ② | ③ | ④ | 道 | ／ | キャプテン会議<br>検尿（一次）<br>SC | ノー部活動デー<br>執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 6 | 金 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 総 | 新入生保護者説明会・給食試食会 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 7 | 土 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 8 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 9 | 月 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 10 | 火 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 預り金振替日 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 11 | 水 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | テスト前週間（部活停止） | 執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 12 | 木 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 学 | ⑥2年マナー講座 SC<br>19:00～ PTA役員会議 | 執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 13 | 金 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 総 | ⑤⑥2年チャレンジ体験事前訪問 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 14 | 土 | | | | | | | | | | | | | | | × |
| 15 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | × |
| 16 | 月 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | 道 | ⑥全校集会 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 17 | 火 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 検尿（二次） | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 18 | 水 | 自主 | テ | テ | テ | | | 第４回定期テスト１日目 | | × | × | × | × | × | × | × |
| 19 | 木 | 自主 | テ | テ | ／<br>テ | ／ | ／ | SC<br>第４回定期テスト２日目 | | × | × | × | × | × | × | × |
| 20 | 金 | 自主 | テ | テ | ／<br>テ | ／ | ／ | 第４回定期テスト３日目 | | × | × | × | × | × | × | × |
| 21 | 土 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 22 | 日 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 23 | 月 | | | | | | | 勤労感謝の日 | | | | | | | | ○ |
| 24 | 火 | ① | ② | ③ | ④ | ／ | ／ | 午後：新入生授業体験 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 25 | 水 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | | 執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 26 | 木 | ① | ② | ③ | ④ | 道<br>⑤<br>道 | 道<br>⑥<br>道 | | ノー部活動デー<br>執行委員会 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × |
| 27 | 金 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | 育成スポーツフェスティバル（午後）<br>⑤⑥3年華道体験 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 28 | 土 | | | | | | | | | | | | | | | ○ |
| 29 | 日 | | | | | | | 出雲路学区自主防災訓練（午前体育館グランド使用不可） | | | | | | | | △ |
| 30 | 月 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑥2年チャレンジ体験事前指導 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |